

# 令和元年度事業報告

公益社団法人 小金井市シルバー人材センター

# 令和元年度事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

## 1. 概 況

令和元年度は、高齢者の働く機会の多様化、消費税の引上げ、新型コロナウイルスの感染拡大など社会情勢が目まぐるしく変化する中で、第5次中期計画の3年目に当たり中期目標を達成するよう取り組んできました結果、契約金額の目標は達成することができましたが、会員数の目標が達成することができませんでした。

会員数拡充の取組みは、昨年に引き続き月2回の入会説明会と出張入会説明会を2回開催しました。

第1回目は7月2日に東町・梶野町・緑町地区を対象に説明会を開催し23名参加した方のうち12名入会、第2回目は高齢者活躍人材確保育成事業（厚生労働省委託事業）を活用し東京しごと財団から支援をいただき、2月21日に全世帯の対象に説明会を開催し18名参加した方のうち6名入会した結果、平成30年度末1,129名に対し、入会者114名、退会者143名となり令和元年度末1,100名、対前年度比△29名（△2.6%）の減となりました。

租入会率は3.5%で昨年度と同様な水準を確保し、都及び全国でも上位に位置しています。

次に契約金額については、公共部門2億3,412万円、民間部門2億3,372万円、合計4億6,784万円となり、昨年度比1,245万円（2.7%）の増となりました。また、第5次中期計画の目標値4億6,200万円に対し584万円上回ることができました。

また、当期一般正味財産増減額は、957万円の黒字となりました。

令和元年度においても「シルバー事業検討会」の提言を踏まえ、労働者派遣事業の拡充、入会事務の改善、依頼の多い建物清掃業務の受注態勢の充実など改善・拡充に努めてきました。

独自事業として、小金井市とリユース事業に関する協定書を締結し、令和元年6月1日よりリユース事業を開始しました。

就業率については、87.0%となり目標値90.0%に3.0%には届かないものの、昨年水準は維持することができました。

公共部門の事業拡充が望めない中、昨年度に引き続き労働者派遣事業の拡充、民間

部門の受注に応えられるよう事務改善を図り、継続発注者の訪問を行い就業の拡充・確保など就業機会の拡大に努めるとともに、社会奉仕活動を通して地域社会に貢献し、地域社会からも頼られるシルバー人材センターを目指し、会員・役員及び職員が一丸となって事業活動を取り組んできました。

安全就業については、安全就業対策基本方針を策定、安全管理体制の充実、事故防止措置、会員の健康管理、安全教育の推進、安全意識の普及・啓発に努めてきたきましが、傷害事故13件（前年度11件）、賠償事故4件（前年3件）となり、傷害・賠償事故とも前年度と比較して増となりました。

当センターは、傷害事故発生件数が多いが、重篤な事故が発生していないのが幸いです。また、会員が重複して傷害・賠償事故を起こす事案が発生しています。

このように重複して傷害・賠償事故を起こした会員に対し、安全教室参加への義務化など事故抑制対策に取り組む必要があります。

「高齢者等見守り事業」については、平成31年2月6日に小金井市とシルバー人材センターの間で協定の締結し、令和元年度も引き続きボランティア活動として見守り事業に取り組んできました。

今後、シルバー人材センターのイメージを一新し、引き続き明るいイメージを発信しイメージアップに努める必要があります。

## 2. 事業実施状況（定款事項）

### (1) 就業機会の開拓及び提供

契約金額は4億6,784万円、就業率は年間87.0%となりました

ア 受託能力の増強及び多くの高齢者に就業機会を提供するため、入会勧誘を積極的に行い、年間入会者は114名となりました。

イ 小金井市長を三役が訪問し、高齢者就業の理解を求めさらなる発注要請を行いました。

ウ 民間事業就業拡大のため、事業部会員が継続契約発注者へ挨拶回りを行いました。

エ 空き家対策、霊園管理について関係部署に伺い協力要請いたしました。

オ 「事務局からのお知らせ」を毎月発行し、就業情報の提供に努めました。

### (2) 労働者派遣事業

シルバー人材センター等労働者派遣事業（シルバー派遣事業）について、派遣業務は3件、派遣会員は10名でした。

### (3) 研修

ア 施設管理業務等及び一般家庭を顧客とする新規就業会員を対象とした「接遇研修」を実施し、「接遇」の重要性の浸透を図りました。また、施設管理等業務に従事する3年目就業会員に対し、利用者へサービスを提供するという基本的な考えを忘れず緊張感を持った就業をするよう接遇研修を実施しました。

(ア) 公共施設等管理業務新規就業者接遇基礎研修 (出席 28名)

(イ) 家庭を顧客とする職班新規就業者接遇基礎研修 (出席 18名)

(ウ) 公共施設等管理業務3年目就業者接遇研修 (出席 28名)

イ 地域班及び職班等の新任リーダーを対象に、リーダーとしての役割や留意・注力すべき点は何かを、具体的な課題を設定し、討議形式の研修を開催しました。

(ア) 地域班新任リーダー研修 (出席 7名)

(イ) 職班新任リーダー研修 (出席 17名)

ウ 自転車安全教室を開催し、小金井警察署講師を招き「自転車事故防止に向けて」の講義を受けた後、交通ルールを遵守した自転車の乗り方等を研修しました。(出席 25名)

エ 交通事故を未然に防ぎ、安全運転を推進するため、小金井自動車教習所に協力依頼し、運転実地研修を実施しました。(出席 25名)

オ 他団体が主催する各種講習会、研修会に参加した他、「子育て支援班」、「手工芸班」、「学習教室班」、「家事援助班」、「筆耕班」、「出張ヘアカット班」による自主研修会を実施して、就業に必要な知識の習得や技能の向上を図りました。

### (4) 社会奉仕活動

ア 地域班単位による清掃ボランティア（街道沿い等のゴミ拾い作業）を定期的実施し、延781名の会員が参加しました。

イ 梶野町、関野・桜町、緑町地域班が年末の小金井公園大掃除大作戦に参加しました。(参加者 56名)

ウ 前原町地域班では地域の運動会の運営のお手伝いをしました。(参加者 6名)

エ 前原町地域班では近隣市民を対象に包丁研ぎサービスを実施しました。

(参加者 10名・研いだ包丁数:55丁)

オ ふすま班による公共施設の障子張替え、リビングサポート班、ふすま班による野川一斉清掃への参加、リビングサポート班による市内高齢者福祉施設9施設へ木工玩具3種類の寄贈、駐輪場管理班による駐輪場周辺の清掃、筆耕班による市民体育祭での賞状名入れ、学習教室班による無料学習教室、手工芸班による手作り講習、パソコン班によるパソコン無料相談、着付け業務会員による浴衣着付け講習、除草班による公共施設の除草等、自分たちの技能を生かしたボランティア活動を実施しました。

カ 「歌でふれあい隊」が2カ所の高齢者施設を訪問し、利用者と一緒に歌を歌い、交流を図りました。

カ 使用済み切手を収集し、小金井ボランティア・市民活動センターへ持参しました。

#### (5) 情報の収集、提供及び普及啓発

ア 東京しごと財団主催の下、第5ブロックは宮地楽器ホールにて「シルバー応援フェスタ」が開催された。

イ 東京しごと財団及び第5地域シルバー人材センター主催の各種会合に参加し、高齢者の就業に関する情報の収集に努めました。

ウ 会報を年4回発行し会員、発注者、関係団体等に配布し、センターの活動状況を広報しました。

エ 「暮らしの中のお手伝い」のリーフレットを改訂し、全世帯及び関係機関に配布し、センター事業内容を周知しました。

オ 「いきいきシルバーフェア」を小金井宮地楽器ホールで実施し、会員作品展に加え、手工芸班・リビングサポート班・パソコン班・筆耕班による展示販売、ふすま班によるふすま・障子・網戸張り実演、家事援助班による窓ガラス清掃実演、出張ヘアカット班によるヘアカット実演、パソコン班によるスマホ写真館・名刺作成、学習教室班、子育て支援班による折り紙指導・工作、入会相談、体力測定、似顔絵コーナー、コーヒーサービス、着ぐるみのシルバー君の登場等盛りだくさんの内容でセンターのPRに役立てました。避け

カ 市報こがねいにセンターの事業内容を掲載した他、市民まつり、ウォーキングフェスタに参加し、センターのPRに努めました。

キ 市発行紙（高齢者福祉のしおり）、小金井新聞にセンターの広告を掲載し、入会促進、センター活動のPRを行いました。

ク 貫井北町バス停留所を経由する京王バスの車内放送で、停留所名のアナウンス

時に「シルバー人材センター前」と付加え、乗客にPRしました。

ケ 他団体主催の公開講座に参加し、センター事業内容を周知しました。

コ 健康運動指導士の森本恵子氏を講師に迎え、「10歳若く見える姿勢と歩き方」と題した健康講座を地域高齢者の出席を得て開催いたしました。

(出席者：一般市民 19名、会員 24名 計 43名)

## (6) 調査研究

ア 月々の就業実態を分析・検討し事業運営の資料としました。

イ 各種教室の受講者の意向調査を行い、教室事業の運営の資料としました。

## (7) 相談

ア 事務所窓口及び電話により、一般高年齢者、家庭等からの就業並びに受注に関する相談に応じました。

イ 毎月第1・2木曜日に「入会説明会」を開催し、入会を希望する高齢者の相談に応じました。  
(出席・169名)

ウ 「就業に関する相談」を毎月開催し、会員からの就業に関する諸相談に応じました。  
(申込・3名)

## (8) 安全

就業の安全を確保するため「令和元年度・安全就業対策方針」に基づき次のとおり安全就業に取り組みましたが、傷害13件、賠償4件の事故が発生しました。

ア 安全器具、保護具等の整備、点検

イ 安全標語の募集 12名 28作品

ウ 安全就業強化月間の設定(7月、12月)

(ア) 駐輪場、ふすま作業所への「安全就業強化月間のぼり」の掲揚

(イ) 配付救急箱等の点検と補充

(ウ) 安全標語ポスターの掲示

エ 就業現場安全巡回の実施(7月と12月、各月24箇所)

オ 地域班会議等諸会合での安全就業に対する意識の喚起

カ 他団体主催の「安全就業推進大会」への参加

キ 安全就業推進員を置き、会員の安全就業対策を検討

ク 自転車の安全講習会、体力測定会を開催

## 2 管理・運営事項の運営体制の充実・強化

- (1) 会員の総意を決定する最高意思決定機関である総会を1回開催しました。
- (2) 理事会を13回（定例12回、臨時1回）開催し、総会で決定された事業を的確に執行しました。
- (3) 三役部会長等連絡会議を12回開催し、事業運営の基本的事項の調整や部会の意思疎通を図りました。
- (4) 専門部会を延14回、各種委員会を適宜開催し、事業の適正な運営と推進に努めました。
- (5) 地域班集会を開催し、「地域班活動について」と題し、入会している会員が地域にどのような貢献活動、就業活動が出来るかを自由な意見交換を行うとともに、連帯交流に努めました。
- (6) 広報配布会員会議を開催し、配布業務に就業する会員間の情報交換と連帯交流に努めました。
- (7) 各職班が会議等を開催し、同一業務に従事する会員間の連帯交流と事業への意見反映に努めました。
- (8) 入会式を毎月開催し、新入会員に対し、会員として必要な心得及び地域班活動への理解を促し、基本理念の浸透及び会員意識の向上に努めました。
- (9) 今年も1月に三役が西岡真一郎市長に面会し、当センターの事業実施状況報告や、今後予定されている事務所及び作業室等の移転に伴い、ご支援とご協力をお願いしてきました。